

J R 総連通信

2022年1月25日 No.1497

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

第2回2022春闘担当者会議開催！

JR総連は1月21日、目黒さつきビル会議室において「第2回春闘担当者会議」を開催し、Web会議システムを併用して加盟各単組・労連参加のもと、「2022 JR総連春闘」の方針について議論を深めました。

すでに連合は、賃上げ相当分2%程度と定期昇給相当分2%をあわせた4%程度の賃金改善を求めてたたかう方針を示しています。議論では、「私たちは連合に加盟する産別としてこれらの示された方針を受けとめた上で、具体的な要求を出すことが重要だ」「コロナ禍によって組合員は精神的苦勞のなかで日々の業務遂行に尽力している。雪害にも負けず、安全を第一に職場で奮闘する組合員の苦勞に報いる要求と交渉が必要だ」「組合員はベアゼロによって賃金は上がり、燃料費や食料品などの物価上昇により、生活実感はさらに厳しくなっている」「組合員の生活実態や働き方改革による労働実態を措いてベア要求すべきだ」など、職場からの組合員の切実な声に応えるために2022 JR総連春闘をたたかい抜くための意思統一をはかりました。

また、2021 JR総連春闘の反省と教訓を踏まえ、今春闘においては、「ベア獲得」を前提に、「定期昇給完全実施」と「総合労働条件改善の取り組み」を8単組が統一要求・統一闘争のもとでたたかうことも確認し、限られた時間ではありましたが、骨太で筋肉質な確固たる方針がつけられました。



なお具体的な方針については、1月28日に開催する第44回定期中央委員会で示します。